## 多発性骨髄腫 (再発・難治性) KRd療法(13~コース) (維持)

コース目

@PATIENTNAME 患者ID: 患者氏名 :

性別TIENTSEXN 身長(cm) 体重(kg) 体表面積(m)) |EIGHT01 DWHEIGHT01 Dd **#VALUE!** 年齢 @PAT <sub>歳</sub>

投与スケジュール: 1コース: 28 日間 目標コース回数: 18コース

使用薬剤: カルフィルゾミブ: カルフィルゾミブ 10mg/V、40mg/V

レナリドミド: レナリドミドカプセル5mg デキサメタゾン(DEX):レナデックス錠4mg

注意: 適正使用ガイドに準じる

- ※ 体表面積が2.2㎡を超える患者では、体表面積2.2㎡として投与量を算出すること。
- ※ Ccrが15mL/分未満となった場合には、カルフィルゾミブを休薬すること。Ccrが15mL/分以上 まで回復した場合には、投与の再開を検討すること。透析を要する場合には、再開時の用量 として20mg/㎡を超えないこととし、また透析後に投与すること。
- % カルフィルゾミブについて、1サイクル目の1及び2日目のみ20mg/m $^{\dagger}$ 、それ以降は27mg/m $^{\dagger}$ 。
- ※ カルフィルゾミブ投与時は水分摂取に努めること。
- ※ 催奇形性を有する可能性があることから、妊娠する可能性のある女性患者にレナリドミドを 投与する場合は、レナリドミド投与開始4週間前及び本剤投与開始3日前から投与開始直前 までに妊娠検査を実施し、妊娠していないことを確認後に投与を開始すること。また、レナ リドミドの治療中は4週間を超えない間隔で、レナリドミドの投与終了の際はレナリドミド 投与終了時及び投与終了4週間後に妊娠検査を実施すること。
- ※ レナリドミド投与開始から投与中止4週間後まで、献血、精子・精液の提供をさせないこと。□
- ※ 深部静脈血栓症又は肺塞栓症があらわれることがあるので、患者個人のリスクにあわせて 必要であれば抗凝固療法、検査等を行うこと。
- ※ 骨髄抑制があらわれることがあるので、定期的に検査を行うこと。
- ※ 末梢神経障害が投与開始後早期にあらわれることがあるので、注意すること。

Cre値(mg/dl)	計算上のCCr		
	#VALUE!		

## 投与量:

0時15分

12.7.2.				
薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
カルフィルソ゛ミフ゛	<b>27</b> mg/m³	#VALUE!		1, 2, 15, 16
薬剤	投与量(mg)		減量	投与日
レナリト゛ミト゛	25mg		なし	1~21
レナデックス錠	40mg		なし	1, 8, 15, 22

## 〈〈 タイムスケジュール:開始時刻 〉〉

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1, 2, 15, 16 **1月1日** (日) (月) **1月15日** (日) 1月16日 1月2日 (月)

内服 レナデックス錠4mg **10 錠** (カルフィルゾミブ投与の30分前に内服すること)

レナデックス錠4mgは 1月1日 (日) 1月15日 (日) に内服

0時00分 ① 生理食塩液 100mL + デキサート 3.3mg

30分で点滴静注 ② 5%ブドウ糖液 0. 0mg

100.0mL + カルフィルソ<sup>\*</sup>ミフ\* + 注射用水20mL(溶解用)

10分で点滴静注 . m/

0時25分 ③ 生理食塩液 50mL フラッシュ

Day1~21 1月21日 レナリト\*ミト\* Cap5mg 5 Cap

Day8, 22 1月8日 (日) 1月22日 (日) 内服 レナデックス錠4mg 10 錠

REFERENCE